



東村山市子ども読書活動推進計画

第2次（平成22年度～26年度）

進捗状況報告①『きょういく東村山』より

乳幼児への読み聞かせボランティア



乳幼児の親子に絵本を

今年度から第2次計画に沿った事業の実施が始まりました。

乳幼児の読書推進の取り組みとして、4月に行ったのは、市立図書館「子どもと本の人材バンク」の「乳幼児への読み聞かせボランティア」の募集です。

平成18年度に募集し、人材バンクに登録していただいた読み聞かせボランティアは、約40名おり、19年度から3年間、市内のいろいろな場所で乳幼児親子に絵本の楽しさを伝えるために活躍しています。

主な活動場所は、子育て支援課の3～4か月児健診、乳児学級、中央図書館と本町児童館で行っているおはなし会「赤ちゃん絵本ひろば」です。他にも、市内8箇所のおひさま広場や、3箇所の子育てひろば、ころころの森、保育園6園のおはなし会に派遣する形で活動してもらっています。

新しいボランティアさん募集

この取り組みを更に広げるために、「乳幼児への読み聞かせボランティア説明会」を中央図書館で開催し、読み聞かせや子育て支援に関心のある方参加、全員が「子どもと本の人材バンク」に登録されました。

全く初めてだが、子どものために社会貢献をしたいという方、お子さんやお孫さんに絵本を読むのが好きで、他の子どもたちにも読んでみたいという方、元保育士や幼稚園教諭としてのキャリアを役立てたいという方など、志望動機は様々ですが、皆さんが意欲的で今後の活躍が期待されます。

新しくボランティアになった方々は、各活動を見学したり、絵本の読み方や選び方などの研修を受けた後、秋から活動していただく予定です。実際の読み聞かせ活動が充実し、やりがいのあるものになるように、更に市立図書館が本の情報提供やボランティア同士の交流の機会を設け、バックアップしていきます。

絵本との出会い・人との出会い

第2次計画の「乳幼児への取り組み」の柱となるのは、たくさんの市民の力をお借りして乳幼児親子に絵本の楽しさを届けることです。

市内のいろいろな場所で、市民による読み聞かせが行われることは、赤ちゃんにとっても、保護者にとっても、そして読み聞かせボランティアの方にとっても、素敵な出会いの機会になると思います。絵本との出会い、地域の人との出会いが広がり、本と人の輪が大きくなっていくことを目指しています。「子育て中にたくさん絵本と出会えるまち・東村山」になれるように。

『きょういく東村山』第62号より

平成22年6月20日号

編集・発行 東村山市教育委員会